

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年12月5日

【評価実施概要】

事業所番号	4071102018		
法人名	大和ケアサービス株式会社		
事業所名	グループホーム 花うさぎ		
所在地 (電話番号)	福岡市南区塩原2-2-8		(電話) 092-511-1111
評価機関名	社団法人 福岡県介護福祉士会		
所在地	福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F		
訪問調査日	平成 19年 10月 27日		

【情報提供票より】(平成 19年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.4人

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="checkbox"/> 併設 <input type="checkbox"/> 単独	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 改築
建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	4 階建ての	2 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000~70,000 円	その他の経費	有	
敷金	有(円)	<input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	450 円	昼食	500 円
	夕食	800 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,750 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵光会 原病院、日の出クリニック、前田歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くには警察署や市民センターなどの公共施設が建ち並び、JRや西鉄大牟田線の駅からは徒歩圏内にあり、利便性の高い場所に建てられたビル型のホームである。屋上には四季折々の草花が咲き乱れ、ベンチやテーブルも準備されている。お茶会やお月見会も開かれ自慢の場所となっている。また、近くの園児たちと一緒に種をまき育てるようなスペースもあり、地域との交流の場所として有効に活用されている。開設2年目のホームであるが、管理者が防災士の資格を取ったことで、ホームはもとより地域へも防災活動を発信し協力を呼びかけている。また清掃活動に利用者や職員が参加したり、校区の夏祭りや運動会にも積極的に参加するなど、地域に根ざしたホームを目指し取り組んでいる。今後も大いに期待できるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を受け全職員で改善に向け取り組んだ。成年後見制度は研修に参加し知識を深め必要な時に情報提供ができるようにした。また介護の中で得た情報を記録に残すことで、介護計画に反映している。鍵をかけたままの部屋は日中1週間ほどエレベーターを自由に使用できるようにしたが、やはり危険と判断し元の状態に戻している。事故防止を第一に考え家族の了解を得ているとはいえ、自由に2階以外には行けない環境での生活を鑑み、職員や家族みんなでアイデアを出し合い前向きな取り組みを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価を受けることで、日頃の介護を見直す切っ掛けとなりサービスの質の向上に繋がっている。前回の外部評価の調査報告書は、ホームの入り口にあり、誰もが自由に閲覧できる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議には校区の自治協議会会長、連合会会長、公民館館長、民生委員、利用者、家族が出席している。ホームの活動状況や、利用者の暮らしぶりを知っていただき、地域との交流促進に向けた話し合いの場となっている。地域の行事やボランティア情報を得て、サービス利用に繋いでいる。また水害の時に適した避難場所の情報を得るなど、地元の人ならではの生活に密着した情報を収集する会議となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	ご意見箱を設置すると共に、家族面会時には職員のほうから積極的に声をかけて、意見や要望、不満などを聴くように心がけている。家族は不満や苦情は言い出しにくいものであるとの認識を全職員はもっており、頂いた意見は協議し、改善に向け迅速に対応している。また毎月家族の元に写真入の便りを送付している。健康状態や行事予定、一人ひとりの様子を書きとめ利用者の暮らしぶりが分かるようしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑥	地域との交流を積極的に行なっている。校区の夏祭りや運動会に参加したり、年に2回ある清掃活動には、利用者や職員が参加し地域住民との交流を図っている。また、地域の園児たちがホームに定期的訪れて、屋上にある菜園で利用者と一緒に野菜の種をまき、育て、収穫するなど交流を深めている。今年は芋ほりや、豆や大根を収穫し楽しんだ。

2. 調査結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの基本理念である「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」を目指し、「地域社会の一員として安心と尊厳のある生活を支援します」をホームの理念とし、地域密着サービスとしての役割を目指した理念を作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホームに掲示すると共に、職員の名前入れの中にも明示されている。会議時には理念を確認し合い、利用者の安心と尊厳ある生活の支援に向け日々努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	積極的に地域活動に参加している。年に2回地域の清掃活動に地域の一員として利用者と職員が参加し汗を流す。また校区の夏祭りや運動会に参加している。ホームにも近くの園児たちが定期的に遊びに来る。屋上にある菜園で園児と一緒に芋ほりや豆や大根を収穫したり交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を受けることで、日頃の介護を見直す切っ掛けとなりサービスの質の向上に繋げている。前回の外部評価の調査報告はホーム入り口にあり、誰もが自由に見ることが出来る。改善点は職員で検討し取り組んだが、鍵をかけない取り組みに関しては、事故防止を第一に考え、途中で断念し、そのままになっている。	○	安全第一で家族の了解を得ているとはいえ、2階以外へはどこへも行けない住環境での生活が、心身に及ぼす影響を利用者の立場にたって考えて欲しい。施錠を常態化せず他に何か方法がないか職員や家族、地域の方々とアイデアを出し合いながら、開錠に向けた前向きな取り組みを期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には校区の自治協議会会長、連合会会長、公民館館長、民生委員、利用者、家族が出席している。ホームの活動状況や利用者の暮らしぶりを報告したり、地域の行事やボランティアについての情報を聴き、地域との交流促進に向け話し合いサービスの向上に活かしている。また水害時等の緊急避難場所についても話し合うことができた。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の窓口に、ホームのパンフレットを持参している。それ以上の事業所としての取り組みは、今現在はない。	○	市町村関係者に、事業所の取り組みや考え方などを、積極的に伝える機会をもつことが望まれる。対応に困った時に相談するなど、日頃から情報交換を行い、質の向上に向け取り組まれるよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者と職員は、成年後見制度の研修を受講し、制度の理解に取り組んだ。パンフレットや資料を準備し、家族からの相談があればいつでも関係機関への橋渡しができる体制である。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、家族の元に写真入の便りを送付している。健康状態や行事予定、一人ひとりの様子を担当者が記入し、表情豊かな写真を添えている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入り口カウンターにご意見箱を設置すると共に、面会時に積極的に話しかけ、意見や不満などを聴く様になっている。また年2回開催される家族会で意見や要望を出していただき、頂いた意見は職員で協議し、改善に向け迅速に対応している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応していくことが基本と捉え、管理者の交代時、現場の職員を管理者に任命するなど、利用者の不安を最小限に止めるよう配慮した。お互いのユニットを自由に行き来し、全職員がかかわるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用については、性別や年齢で対象から排除することはしていない。職員は生き生きとして勤務しており、事業所内外の研修にも、積極的に参加できるよう支援している。休暇もとりやすく、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されている。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	管理者は年に一度、市民センターで開催される人権学習に参加している。具体的な接し方など学んできたことは、伝達研修を行ない全職員に周知している。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修にも交代で参加できるようにしている。積極的に研修に参加し知識を習得し、レベルアップを目指すよう指導している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し、勉強会に積極的に参加している。またお互いの事業所の行事に参加し、情報を交換することで、レベルアップを目指している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や宿泊体験を通して雰囲気を感じていただき、利用者や家族が納得して、スムーズに利用できるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	屋上にある菜園で、野菜に適した土作りを教えてもらったり、食事の配膳を手伝ってもらったりと、得意分野で力を発揮できるような場面作りや声かけを行ない、学び感謝することで支えあう関係を築いている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の介護の中で、利用者の思いや願いを引き出せるよう取り組んでいる。日頃思いをなかなか口にしないう利用者が、夜眠らない時はチャンスと捉え、お茶を勧めながらじっくり話を聴くようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット毎に月に1回の割合で会議を開いている。面会時に家族から得た情報や利用者の細かな変化や気になることなど、毎回活発な意見が出るため3時間を越えることも多い。会議録は詳細に記録されており、出席できなかった職員にも周知する体制が出来ている。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに介護計画の見直しを行っている。認知症の進行に伴い状態が著しく変化したときやケガや病気などの時、期間内であっても、本人や家族の意向を確認し新たな介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が通院に同行できない時は、家族に代わって同行するなど、その時々柔軟に対応している。また自宅に外出や外泊させたいが、排泄など介護に不安がある家族が多いことから、介護者教室開催に向け検討中である。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年かかっていた馴染みの病院に、継続し治療を受けている利用者も多い。協力医療機関から月に2回の割合で定期的に往診が受けられる体制も出来ており、それぞれの医療機関と連携をとり、本人や家族が安心して生活できるよう支援している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に当事業所の「重度化した場合の対応に係る指針」を書面をもとに説明を行い、本人と家族の同意を得ている。重度化した場合、医療との連携を図りながら、その都度本人や家族の希望を確認し、支援する仕組みがある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者に対し丁寧な言葉使いで対応している。個人の記録はファイルに綴じて、事務室に保管、管理し夜間は鍵をかけている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や希望に応じ、可能な限り本人の希望に添うよう支援している。毎晩夕食の時にコップ1杯の焼酎のお湯割りを楽しませている利用者もいる。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホットプレートを使いおやつを一緒に作ったり、パンを焼いたり、みんなで作る楽しさを感じて貰えるよう取り組んでいる。そうめん流しやお月見会で季節を感じて頂き、屋上庭園で収穫したオクラや大根が食卓に上ることで、食事が一層楽しい時間となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	端午の節句には菖蒲湯にしたり、季節の行事毎に楽しんで入浴して頂けるよう支援している。特に時間の制限は設けていないが、職員の勤務の都合上、夜の8時ごろまでをお願いしている。また希望者は毎日でも入浴は可能である。		
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その日の状態に合わせて、職員が上手に声かけしながら家事をお願いしている。訪問日には、三角巾にエプロン姿の利用者が、ボランティアと間違える程きばきと昼食の配膳をしていた。一人ひとりの出来そうなことを職員が把握し、利用者が自信を取り戻せるよう取り組んでいた。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日頃から近くのスーパーに買出しに誘ったり、公園に散歩に行くよう努めている。また屋上庭園でお花見や季節を肌で感じてもらえるようにしている。ユニット毎に花見やお祭り、野球観戦など企画し、積極的に外出の機会を持つよう取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	4階建ての2階部分がグループホームである。それぞれのユニット入り口のドアは常に開かれ、誰もが自由に行き来が出来る。しかし他の階に行くためのエレベーターは、暗証番号を押さないと開かない仕組みとなっており、利用者一人では自由に2階以外には行けない住環境である。	○	前回の外部評価後に、日中1週間ほどエレベーターを自由に使用できるようだったが、やはり危険と判断し取りやめた。安全第一で家族の了解を得ているとはいえ、利用者本人にとって他に何か方法がないかアイデアを出し合い、開錠に向けた段階的な取り組みを期待したい。
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回ケアホームとデイサービスと合同の避難訓練を実施し消防署の指導も受けている。更にグループホーム独自で夜間を想定した訓練を実施した。管理者が防災士の資格を取得し指導に当たっている。また地域に協力を呼びかけ、お互い助け合えるよう取り決めている。		
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導のもと、疾病を抱える利用者に対しても主治医の指示を得ながら食事作りに取り組んでいる。キザミやとろみ食の対応も可能である。1日の食事と水分の摂取量は記録に残し健康管理を行なっている。脱水予防に1日1,000ccを目標に全職員で取り組んでいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	屋上庭園には季節の花々が咲き乱れ、ベンチも準備されている。庭園には近くの幼保園の子供たちと一緒に種をまき育てるようなスペースもあり、お茶会やお月見も楽しめる自慢の場所となっている。リビングには大きな鉢の中でめだかが泳ぎまわっている。また折り紙や手書きのカレンダーで季節感や暖かさを演出している。食事中には音楽を流すなど、利用者が安心して暮らせるような工夫が随所に見られた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使っていたタンスやお気に入りのぬいぐるみ、古いアルバム、思い出のCDなど持ち込み、安心して過ごせるよう工夫している。しかしホームが準備した備品以外に、個人の持ち込みの品々や物品が極端に少ない部屋が多く見受けられた。</p>	○	<p>認知症高齢者の精神的安定を図るためにも、家族と話し合い安らげる居室作りに取り組んで頂きたい。困難なようであれば、日頃の介護の中で得た情報を元に本人と職員で話し合い、壁に好きな絵や写真、手作りの作品を飾るなど、少しでも本人が居心地よく過ごせるよう取組まれる事を期待したい。</p>